



みんな最高！ 学校最高！ ふるさと最高！

「最高！」 第9号



令和7年10月15日(水)発行

(りんどうヶ丘小ホームページQRコードです。学校生活のブログ等をご覧くださいませ。)

ひとつのことば

10月4日土曜日に、**熊本県立劇場**におきまして、「**熊本県人権子ども集会**」が開催されました。県下各地から小・中・高校生らおよそ1700人が集まり、人権について考える貴重な学びの場となりました。本校からも、6年生5名が学校を代表して参加しました。

初めに、**南関第二小学校**の「**学校で大切にしている3つの宝物**」についての活動報告がありました。

その3つの宝物の1つは、「**北原白秋の詩『1つの言葉』**」ということでした。北原白秋は、**南関町の生まれ**ということのでなじみが深いようです。

さて、りんどうヶ丘小学校でも、**言われたらうれしくなったり元気が出たりする「ふわふわ言葉」と、言われた悲しくなったり元気がなくなったりする「チクチク言葉」**というキーワードを使って、人権を大切にしたい「**言葉づかい**」について学んでいます。

その「**ふわふわ言葉**」と、「**チクチク言葉**」は、言うまでもなく「**ひとつの言葉**」です。この「ひとつの言葉」について、**北原白秋**が作った詩「**ひとつのことば**」を紹介します。

ひとつのことば

北原白秋

ひとつのことばで けんかして
ひとつのことばで なかなおい

ひとつのことばで 頭が下がり
ひとつのことばで 心が痛む

ひとつのことばで 楽しく笑い
ひとつのことばで 泣かされる

ひとつのことばは それぞれに
ひとつのこころを 持っている

きれいなことばは きれいな心
やさしいことばは やさしい心

ひとつのことばを 大切に
ひとつのことばを 美しく

ことばは心を持っています。きれいなことばは、使う人の心も、言われた人の心もきれいにしてくれます。やさしいことばも同じです。

「やさしいことばは、たとえ簡単な言葉でも、ずっとずっと心にこだまする」

マザーテレサの言葉だそうです。ステキですね。

「ごめんね。」「ありがとう。」の言葉一つでも、きちんと声に出して、相手に気持ちを伝えていくことは大切なことです。

何気なく使っている日々の言葉を見直し、大切にしていきたいですね。



それでは、集会に参加した5人の6年生の感想の一部を抜粋して紹介します。

☆ 佐藤 しづき

ステージでは、各学校から、「学校の宝物や伝統を大切にしていること」や「友達や家族など周りの人たちとの関わりを深めることの大切さ」「自分の思いを相手に伝えることの大切さ」「一人一人の色を大切にすること」などの発表がありました。今まで考えることのなかった学びが出来ました。

☆ 佐藤 まお

南関第二小学校の「ハートフラワー」という歌を聴いて、歌詞に「あのととき話し合えてよかった」というところがありました。自分もお友達とけんかをしてしまったときに、話し合わずにモヤモヤしたまま終わって後悔したことがあるので、自分とこの歌詞が重なってとても心に残りました。だから、自分を振り返る機会になったので行ってよかったと思いました。

☆ 佐藤 りお

玉名高校附属中学校の発表を聞いて、りん小でも出来そうな活動がありました。それは、「玉付箱」の取組です。誰かがしてくれた思いやりなどを紙に書き、箱の中に入れて発表する活動です。私も、人権に関する活動を見つけ行動し、いじめのない明るい学校づくりをしたいです。

☆ 橋本 れんと

南関第二小学校の発表が特に心に残りました。その理由は「学校の3つの宝物」にあります。1つめは、「ひとつのことば」という詩をみんなで暗唱していると全校児童が仲良くなる内容だったからです。2つめは、縦割り班活動による強い絆です。3つめは、20年以上前から「ハートフラワー」という歌を歌い続けていて元気が出る歌だったからです。

☆ 山内 たかひと

「ハートフラワー」の歌が心に残りました。人権学習で学んだことや、人権に対する思いが伝わってきたからです。昼休みなどには、学年関係なく遊んでいることで、いじめが起きにくいようになっているのだと思います。

<めざす家庭・地域像>

笑顔と元気がいっぱいの家庭・地域！ 安心して生活できる家庭・地域！ 子どもの夢実現を支える家庭・地域！